

# イーストスプリング・ インド公益インフラ 債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2017年7月11日～2018年1月10日

(毎月決算型)

第29期 2017年8月10日決算 第32期 2017年11月10日決算  
 第30期 2017年9月11日決算 第33期 2017年12月11日決算  
 第31期 2017年10月10日決算 第34期 2018年1月10日決算

(年2回決算型)

第6期 2018年1月10日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名: インド公益債

|               |       |           |
|---------------|-------|-----------|
| 第34期末         | 基準価額  | 9,881円    |
|               | 純資産総額 | 68,457百万円 |
| 第29期～<br>第34期 | 騰落率   | 0.8%      |
|               | 分配金合計 | 270円      |

(年2回決算型)

日経新聞掲載名: インド公益2

|      |       |           |
|------|-------|-----------|
| 第6期末 | 基準価額  | 11,259円   |
|      | 純資産総額 | 21,115百万円 |
| 第6期  | 騰落率   | 0.8%      |
|      | 分配金合計 | 0円        |

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

[お問い合わせ先]

電話番号: 03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

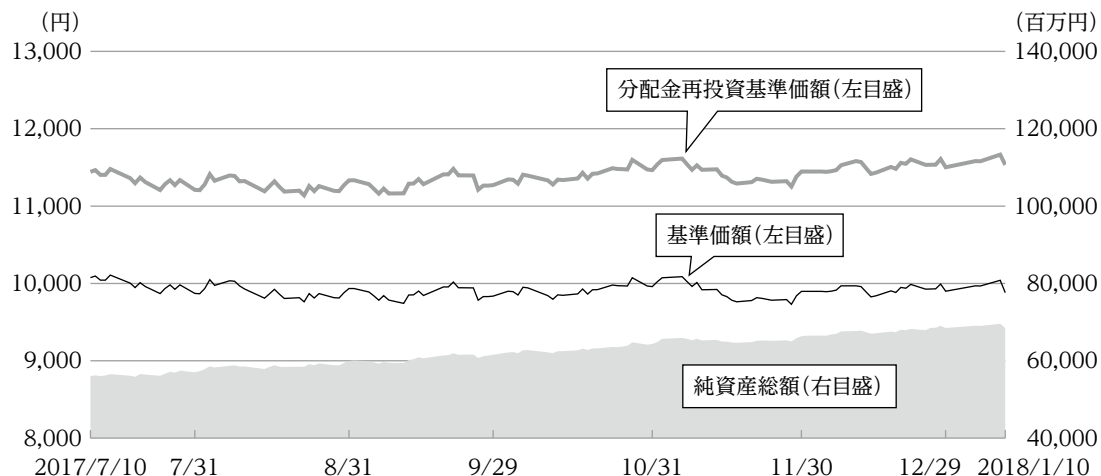
ホームページにアクセス ⇒ 「運用状況」のタブを選択 ⇒ 当ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2017年7月11日～2018年1月10日)



|       |                    |
|-------|--------------------|
| 第29期首 | 10,076円            |
| 第34期末 | 9,881円 (既払分配金270円) |
| 騰落率   | 0.8% (分配金再投資ベース)   |

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の変動要因

当作成期の基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

上昇要因

・インド債券からのクーポン収入(利金)。

## 1 万口当たりの費用明細

(2017年7月11日～2018年1月10日)

| 項目        | 第29期～第34期 |         | 項目の概要                                                  |
|-----------|-----------|---------|--------------------------------------------------------|
|           | 金額        | 比率      |                                                        |
| (a) 信託報酬  | 83円       | 0.838%  | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率<br>作成期間の平均基準価額は、9,899円です。   |
| (投信会社)    | (40)      | (0.408) | 委託した資金の運用の対価                                           |
| (販売会社)    | (40)      | (0.408) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、<br>購入後の情報提供等の対価          |
| (受託会社)    | ( 2)      | (0.022) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                                |
| (b) その他費用 | 2         | 0.020   | (b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数                      |
| (保管費用)    | ( 2)      | (0.015) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管<br>および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用)    | ( 0)      | (0.001) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                            |
| (印刷)      | ( 0)      | (0.002) | 目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等                             |
| (その他)     | ( 0)      | (0.002) | 外国人投資家に対する国債投資枠を取得するための入札費用、<br>外国債券の利金に係る税金等          |
| 合計        | 85        | 0.858   |                                                        |

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2013年1月10日～2018年1月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

| 決算日               |       | 2015/2/10<br>設定日 | 2016/1/12 | 2017/1/10 | 2018/1/10 | — | — |
|-------------------|-------|------------------|-----------|-----------|-----------|---|---|
| 基準価額              | (円)   | 10,000           | 9,691     | 9,800     | 9,881     | — | — |
| 期間分配金合計（税引前）      | (円)   | —                | 405       | 540       | 540       | — | — |
| 分配金再投資基準価額の騰落率(%) |       | —                | 0.9       | 7.4       | 6.5       | — | — |
| 純資産総額             | (百万円) | 586              | 26,041    | 38,327    | 68,457    | — | — |

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定元本を記載しております。

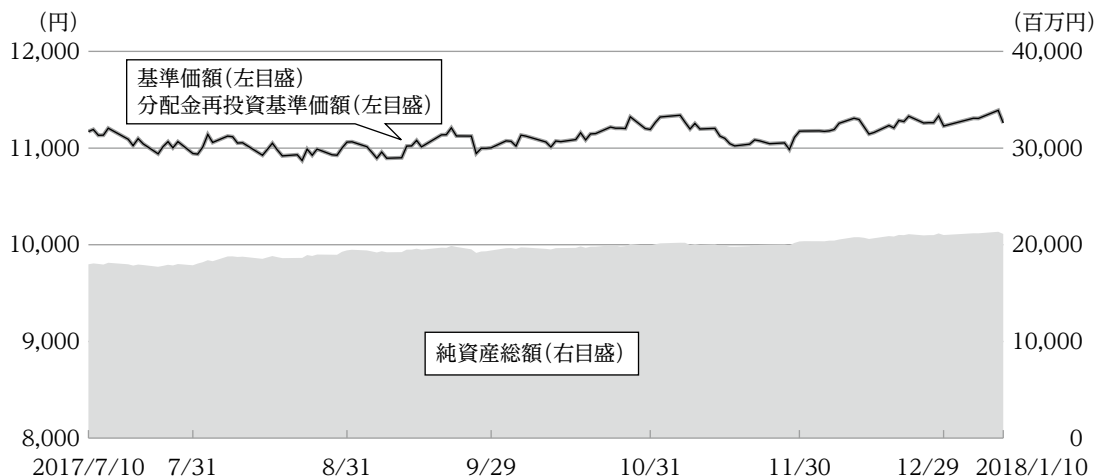
\*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2017年7月11日～2018年1月10日)



|      |                   |
|------|-------------------|
| 第6期首 | 11,171円           |
| 第6期末 | 11,259円 (既払分配金0円) |
| 騰落率  | 0.8% (分配金再投資ベース)  |

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

## 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・インド債券からのクーポン収入(利金)。

## 1万口当たりの費用明細

(2017年7月11日～2018年1月10日)

| 項目        | 当期   |         | 項目の概要                                                  |
|-----------|------|---------|--------------------------------------------------------|
|           | 金額   | 比率      |                                                        |
| (a) 信託報酬  | 93円  | 0.838%  | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>期中の平均基準価額は、11,100円です。      |
| (投信会社)    | (45) | (0.408) | 委託した資金の運用の対価                                           |
| (販売会社)    | (45) | (0.408) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、<br>購入後の情報提供等の対価          |
| (受託会社)    | ( 2) | (0.022) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                                |
| (b) その他費用 | 3    | 0.027   | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数                          |
| (保管費用)    | ( 2) | (0.015) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管<br>および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用)    | ( 0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                            |
| (印刷)      | ( 1) | (0.007) | 目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等                             |
| (その他)     | ( 0) | (0.002) | 外国人投資家に対する国債投資枠を取得するための入札費用、<br>外国債券の利金に係る税金等          |
| 合計        | 96   | 0.865   |                                                        |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2013年1月10日～2018年1月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

| 決算日               | 2015/4/10<br>設定日 | 2016/1/12 | 2017/1/10 | 2018/1/10 | — | — |
|-------------------|------------------|-----------|-----------|-----------|---|---|
| 基準価額 (円)          | 10,000           | 9,847     | 10,566    | 11,259    | — | — |
| 期間分配金合計(税引前) (円)  | —                | 0         | 0         | 0         | — | — |
| 分配金再投資基準価額の騰落率(%) | —                | -1.5      | 7.3       | 6.6       | — | — |
| 純資産総額 (百万円)       | 1                | 8,609     | 14,326    | 21,115    | — | — |

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定元本を記載しております。

\*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### インド債券市場

2017年7月から8月にかけて、インド債券市場は小動きとなりました。9月以降、原油価格が上昇したことに加え、消費者物価指数も上昇傾向が続いたことから、インド債券市場は軟調推移（利回りは上昇）となりました。11月は米大手格付け会社によるインド国債の格上げなどが好感されて買い戻される場面もありましたが、財政赤字の拡大懸念がくすぶったこともあり、再び下落しました。12月末に2017/18年度におけるインド政府の追加借入れが発表されると、財政赤字の拡大懸念が強まってインド債券市場は一段安となりました。

## ポートフォリオについて

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)

当ファンドはイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

### 為替市場

インドルピーは、2017年9月に米国金利の上昇を背景に米ドルを買う動きが強まる中、対米ドルで下落しました。その後、外国人投資家からの多額の資金がインド金融市場へ流入したことを受けてインドルピーは対米ドルで反発し、通期ではインドルピー高米ドル安となりました。また、円も対米ドルで上昇したこと、インドルピーは対円で小動きとなりました。

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。当（作成）期は、通信セクターの銘柄の保有がプラス要因となる一方、デュレーションの長い国債の保有がマイナス要因となりました。投資行動としては、資金流入が続く中、主に銀行や住宅セクターの銘柄や地方債を購入しました。



## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）  
（毎月決算型）

| 項目            | 第29期                      | 第30期                      | 第31期                       | 第32期                        | 第33期                        | 第34期                       |
|---------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
|               | 2017年7月11日<br>～2017年8月10日 | 2017年8月11日<br>～2017年9月11日 | 2017年9月12日<br>～2017年10月10日 | 2017年10月11日<br>～2017年11月10日 | 2017年11月11日<br>～2017年12月11日 | 2017年12月12日<br>～2018年1月10日 |
| 当期分配金 (円)     | 45                        | 45                        | 45                         | 45                          | 45                          | 45                         |
| (対基準価額比率) (%) | 0.451                     | 0.460                     | 0.455                      | 0.452                       | 0.449                       | 0.453                      |
| 当期の収益 (円)     | 39                        | 40                        | 44                         | 45                          | 45                          | 38                         |
| 当期の収益以外 (円)   | 5                         | 4                         | 0                          | —                           | —                           | 6                          |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 1,054                     | 1,052                     | 1,053                      | 1,057                       | 1,062                       | 1,057                      |

（年2回決算型）

| 項目            | 第6期                       |
|---------------|---------------------------|
|               | 2017年7月11日<br>～2018年1月10日 |
| 当期分配金 (円)     | —                         |
| (対基準価額比率) (%) | —                         |
| 当期の収益 (円)     | —                         |
| 当期の収益以外 (円)   | —                         |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 1,917                     |

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

インド準備銀行(中央銀行、RBI)はしばらく政策金利を据え置くと見えています。R

BIが高い実質金利を維持すると表明していることに加え、継続的に改革が進展していることから、インド債券は今後も利子収入の面から魅力的であると考えます。多くの企業において信用力の改善が見られていますが、今後景気回復が勢いを増せば、更なる信用力の改善につながるものと期待されます。一方、原油価格の動向には注意が必要です。引き続き、安全性や流動性を重視しつつ、機動的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

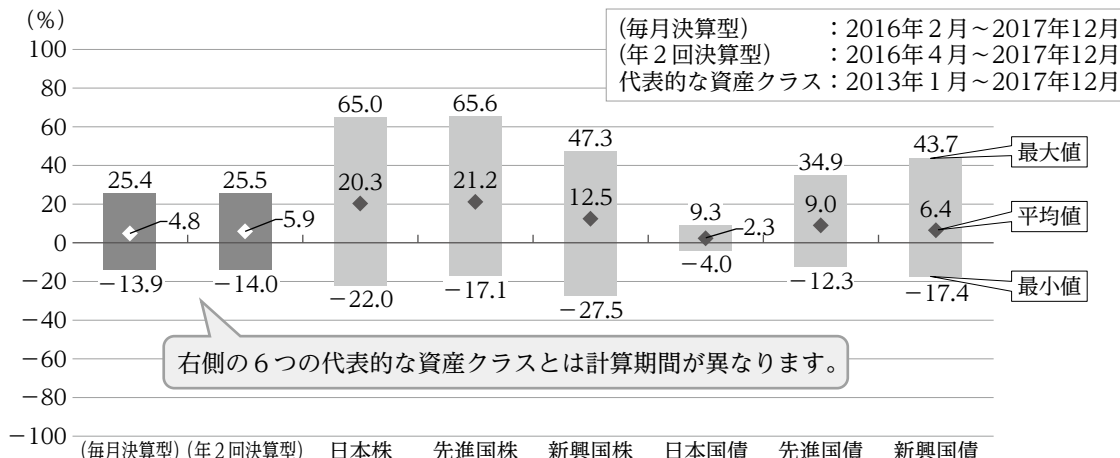
## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

|        |                                                                                                                                                                |                                                                                                                         |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類   | 追加型投信／海外／債券                                                                                                                                                    |                                                                                                                         |
| 信託期間   | (毎月決算型) 2015年2月10日から2025年1月10日まで<br>(年2回決算型)2015年4月10日から2025年1月10日まで                                                                                           |                                                                                                                         |
| 運用方針   | イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。                                        |                                                                                                                         |
| 主要投資対象 | イーストスプリング・<br>インド公益インフラ<br>債券ファンド<br>(毎月決算型)／<br>(年2回決算型)                                                                                                      | イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド<br>受益証券を主要投資対象とします。                                                                        |
|        | イーストスプリング・<br>インド公益インフラ債券<br>マザーファンド                                                                                                                           | インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。                                                                                                |
| 運用方法   | イーストスプリング・<br>インド公益インフラ<br>債券ファンド<br>(毎月決算型)／<br>(年2回決算型)                                                                                                      | 以下の投資制限のもと運用を行います。<br>・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。<br>・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）<br>への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内と<br>します。 |
|        | イーストスプリング・<br>インド公益インフラ債券<br>マザーファンド                                                                                                                           | 以下の投資制限のもと運用を行います。<br>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。<br>・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）<br>への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。         |
| 分配方針   | (毎月決算型) 原則として毎月10日（休業日の場合は翌営業日）<br>(年2回決算型)原則として、毎年1月10日および7月10日（休業日の場合は翌営業日）<br>各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を<br>決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。 |                                                                                                                         |

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

|      |                                          |                                                                                                                                        |
|------|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本株  | 東証株価指数 (TOPIX)<br>(配当込み)                 | 株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。                         |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス<br>(配当込み、円換算ベース)         | MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。                          |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス<br>(配当込み、円換算ベース) |                                                                                                                                        |
| 日本国債 | NOMURA-BPI国債                             | 野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。                                                                                             |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス<br>(除く日本、ヘッジなし・円ベース)      | FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。 |
| 新興国債 | J.P.モルガンGBI-E Mグローバル・ダイバーシファイド<br>(円ベース) | J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。                                              |

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

(毎月決算型)

### 当ファンドの組入資産の内容

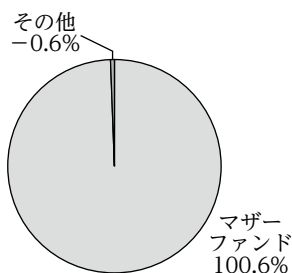
組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

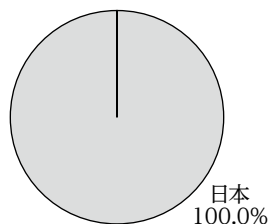
| ファンド名                        | 第34期末<br>2018年1月10日 |
|------------------------------|---------------------|
| イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド | 100.6%              |

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

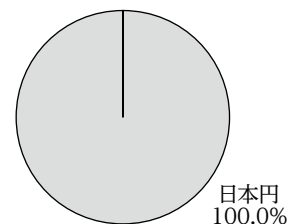
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

| 項目            | 第29期末<br>2017年8月10日 | 第30期末<br>2017年9月11日 | 第31期末<br>2017年10月10日 | 第32期末<br>2017年11月10日 | 第33期末<br>2017年12月11日 | 第34期末<br>2018年1月10日 |
|---------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 純資産総額 (円)     | 58,514,104,700      | 59,419,352,357      | 62,166,745,200       | 65,248,464,316       | 67,693,885,636       | 68,457,920,071      |
| 受益権総口数 (口)    | 58,942,895,549      | 60,993,576,282      | 63,161,412,139       | 65,794,403,806       | 67,902,289,389       | 69,284,678,135      |
| 1万口当たり基準価額(円) | 9,927               | 9,742               | 9,843                | 9,917                | 9,969                | 9,881               |

\* 当作成期中（第29期～第34期）において追加設定元本額は19,135,655,473円、一部解約元本額は5,455,471,416円です。

## ファンドデータ

(年2回決算型)

### 当ファンドの組入資産の内容

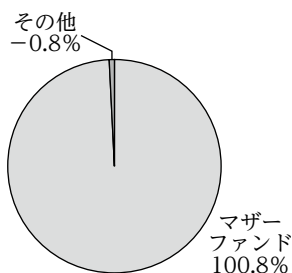
組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

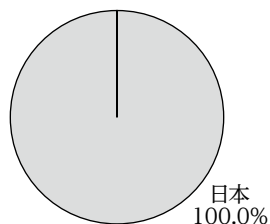
| ファンド名                        | 第6期末<br>2018年1月10日 |
|------------------------------|--------------------|
| イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド | 100.8%             |

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

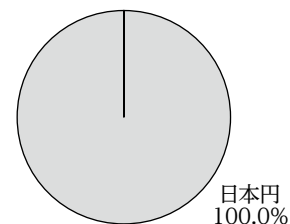
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

| 項目         |     | 第6期末<br>2018年1月10日 |
|------------|-----|--------------------|
| 純資産総額      | (円) | 21,115,409,144     |
| 受益権総口数     | (口) | 18,754,594,177     |
| 1万口当たり基準価額 | (円) | 11,259             |

\*当期中において追加設定元本額は5,066,744,310円、一部解約元本額は2,406,193,362円です。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド>

基準価額の推移(2017年1月11日～2018年1月10日)

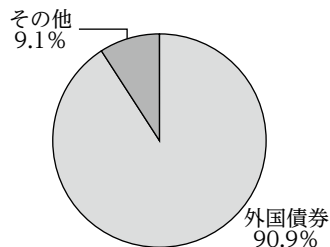


組入上位10銘柄(組入銘柄数：81銘柄)

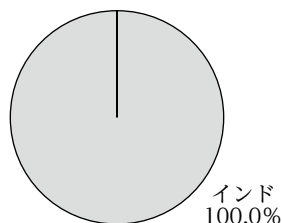
(2018年1月10日現在)

| 銘柄名                          | 種別 | 利率    | 償還日        | 国・地域 | 比率   |
|------------------------------|----|-------|------------|------|------|
| AXIS BANK LTD                | 社債 | 7.60% | 2023/10/20 | インド  | 6.1% |
| VODAFONE MOBILE SERVICES LTD | 社債 | 8.25% | 2020/7/10  | インド  | 6.0% |
| HOUSING DEV FINANCE CORP     | 社債 | 1.50% | 2020/6/29  | インド  | 4.1% |
| INDIA GOVERNMENT             | 国債 | 7.68% | 2023/12/15 | インド  | 4.1% |
| POWER FINANCE CORP           | 社債 | 7.10% | 2022/8/8   | インド  | 3.9% |
| RELIANCE PORTS AND TERMINALS | 社債 | 8.45% | 2023/6/12  | インド  | 3.6% |
| HDFC BANK LTD                | 社債 | 7.95% | 2026/9/21  | インド  | 3.5% |
| INDIA GOVERNMENT             | 国債 | 7.80% | 2021/4/11  | インド  | 3.0% |
| HOUSING DEV FINANCE CORP LTD | 社債 | 7.40% | 2020/11/17 | インド  | 2.9% |
| INDIA GOVERNMENT             | 国債 | 7.16% | 2023/5/20  | インド  | 2.8% |

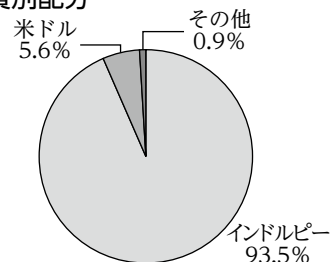
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 1 万口当たりの費用明細

(2017年1月11日～2018年1月10日)

| 項目        | 当期  |         | 項目の概要                                                      |
|-----------|-----|---------|------------------------------------------------------------|
|           | 金額  | 比率      |                                                            |
| (a) その他費用 | 4円  | 0.032%  | (a) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数<br>期中の平均基準価額は、11,547円です。 |
| (保管費用)    | (3) | (0.029) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用         |
| (その他1)    | (0) | (0.000) | 信託管理事務に係る手数料                                               |
| (その他)     | (0) | (0.002) | 外国人投資家に対する国債投資枠を取得するための入札費用、外国債券の利金に係る税金等                  |
| 合計        | 4   | 0.032   |                                                            |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。